


OFFICE SURVEY REPORT



あしたのオフィス環境を考えるヒント

従業員の本音に耳をかたむけ、 豊富なデータベースを構築。 あしたのオフィス環境を考える ヒントがここにあります。

ライフスタイルやワークスタイルの多様化が進むいま、
従業員がオフィスに求めるニーズも多様化しています。
オフィス環境づくりには、ニーズの理解がますます重要になっています。

オカムラでは、お客さまのオフィスづくりに際して、
従業員へのオフィス環境に関する意識調査を2002年から実施しており、
2017年までにのべ150社・70,000人以上のデータを蓄積しています。
そのデータベースから、オフィスと従業員のさまざまな実態が見えてきました。

このレポートでは、2012年から2017年までの5年間で集めた
のべ59社・30,000人以上のアンケート結果の一部をご紹介します。

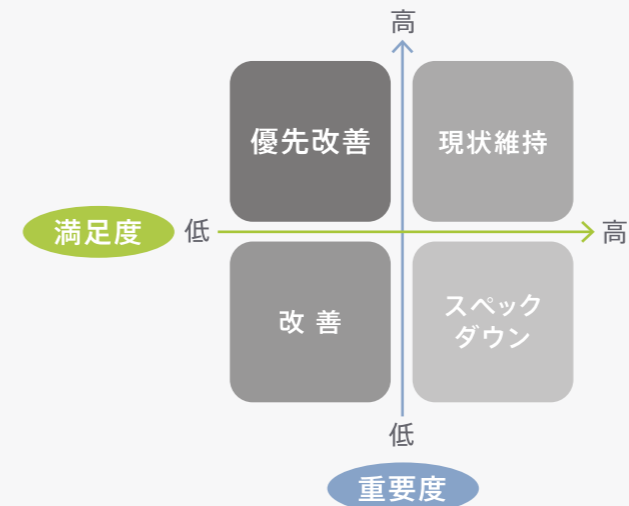
これらのデータは、具体的な改修・移転を計画する際はもちろん、
日ごろからオフィス環境の改善を考える上でもお役に立ていただける内容になっています。

オカムラでは、このほかさまざまなデータを収集・分析しています。

担当者におたずねの上、ぜひご活用ください。



■アンケート調査の視点とオフィス改善のポイント



オフィスを構成する自席や会議室などに関して、
仕事をする上での重要度と現オフィスの満足度
という2つの視点でアンケート調査を実施しています。
重要度が高く、満足度が低いところから優先的に
改善が望まれるなど、アンケートの結果を指標として、
オフィス改善のポイントを見つけることができます。

オフィス環境は重要。
しかし、満足している人は多くありません。

従業員の約70%は、オフィス環境は仕事をする上で重要だと考えています。

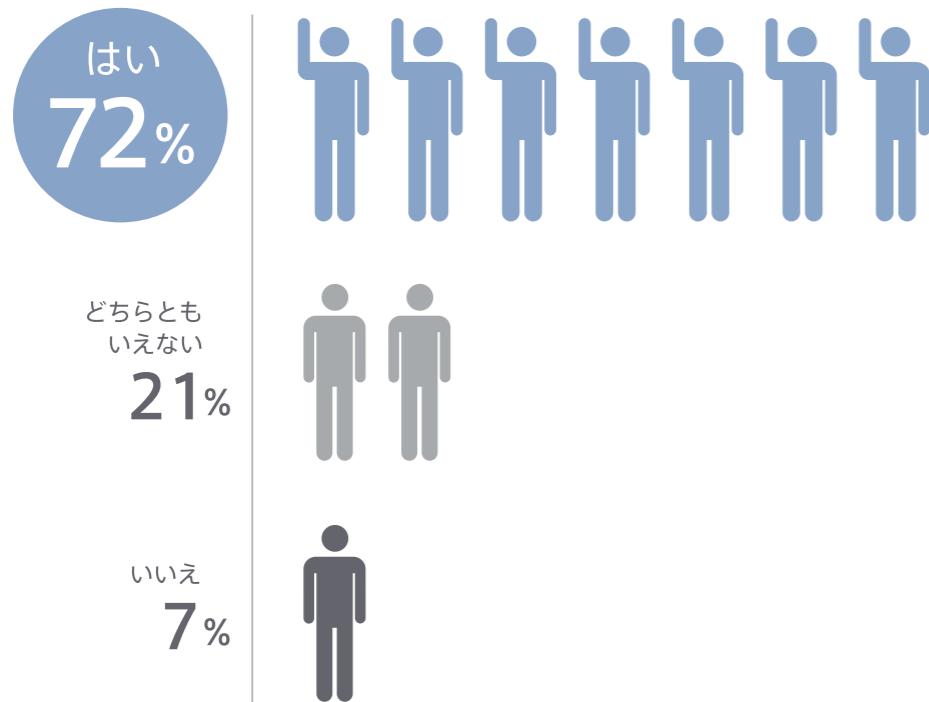
しかし、その環境に不満を感じている人は約40%、

どちらともいえないという人を含めると60%以上の人は何らかの不満を抱えています。

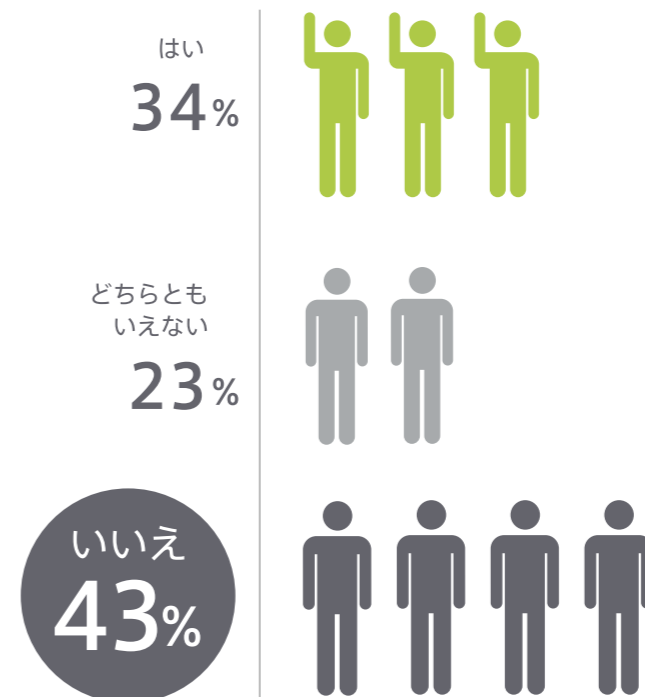
不満を解消し、よりよい働き方をするために、オフィス環境の改善は有効な手段の一つといえます。



Q オフィス環境は仕事をする上で重要ですか？



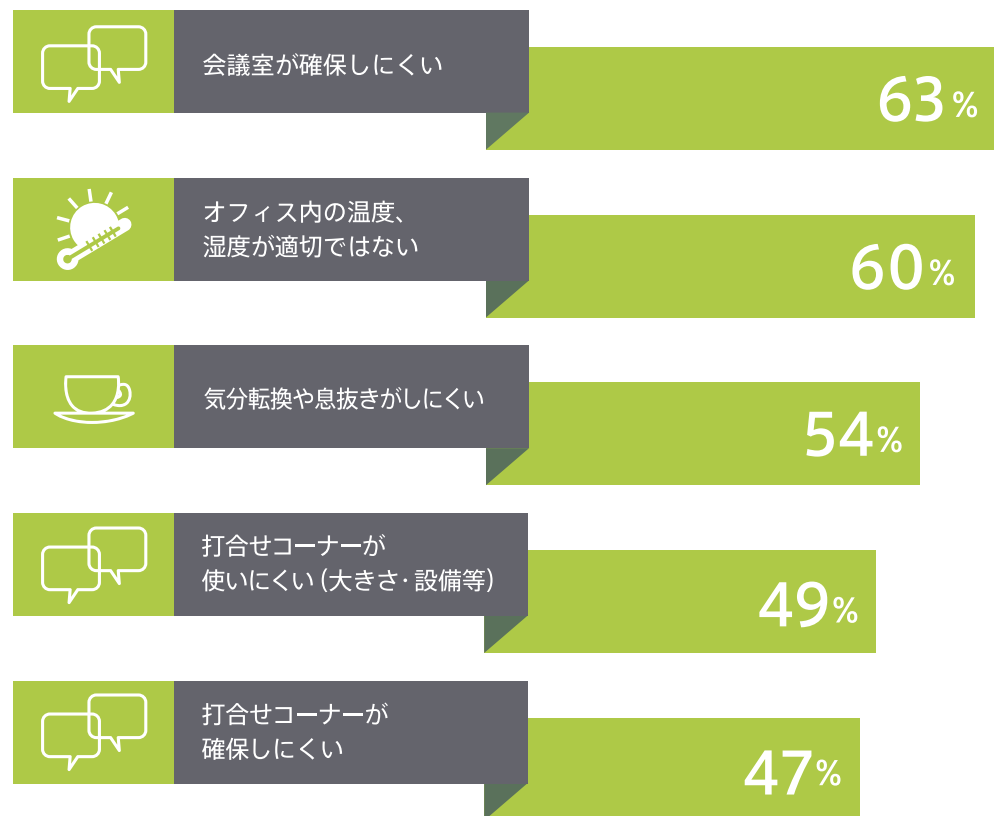
Q 今のオフィス環境に満足していますか？



オフィス環境で特に多い不満は、
「コミュニケーション」「温度・湿度」
「リフレッシュ」に関することです。

従業員が抱えるオフィス環境の不満で最も多かったのが、
コミュニケーションをとるための会議室や打合せコーナーの確保のしづらさです。
また常に自席にいることから生まれる寒い・暑いといった不満や、
気分転換に関する不満も50%以上の人が感じているようです。

Q オフィス環境でどんな不満を感じていますか？



[オフィスの不満点 Top 5]



コミュニケーション



温度・湿度



リフレッシュ



男性はコミュニケーションの場を、
女性は身のまわりの働く環境を重視しています。

オフィス環境で重要だと思うことを男女で比較すると、いくつかの違いが見えてきました。

男性はTop5に会議や打合せに関する3項目が入っており、

コミュニケーションの場を重視していることがわかります。

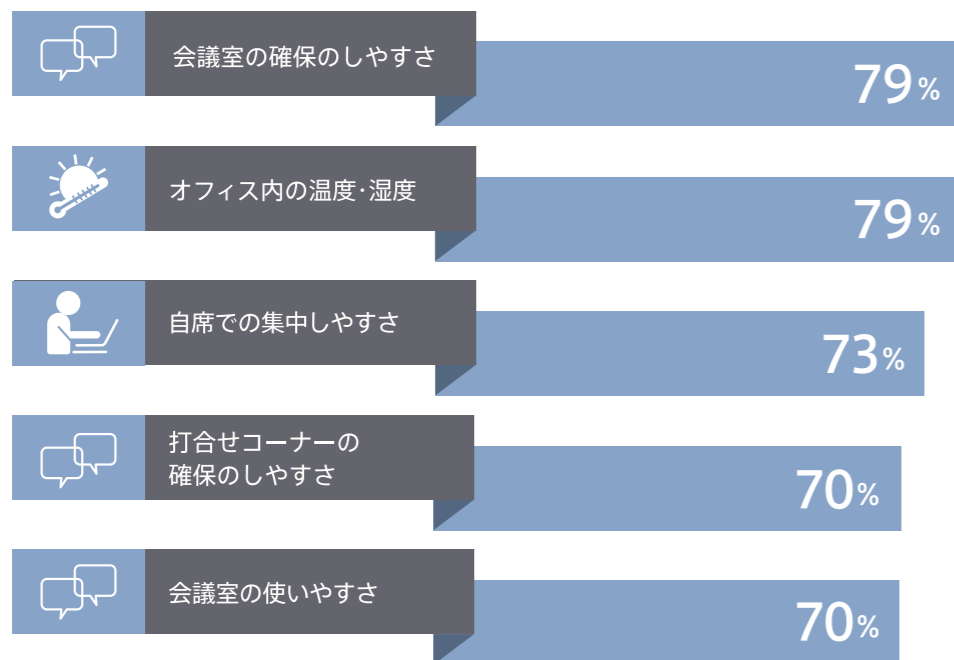
女性はオフィス内の温度・湿度や自席まわりの環境を80%前後の人が重視し、

快適に働くための要素を大切に思っていることがうかがえます。



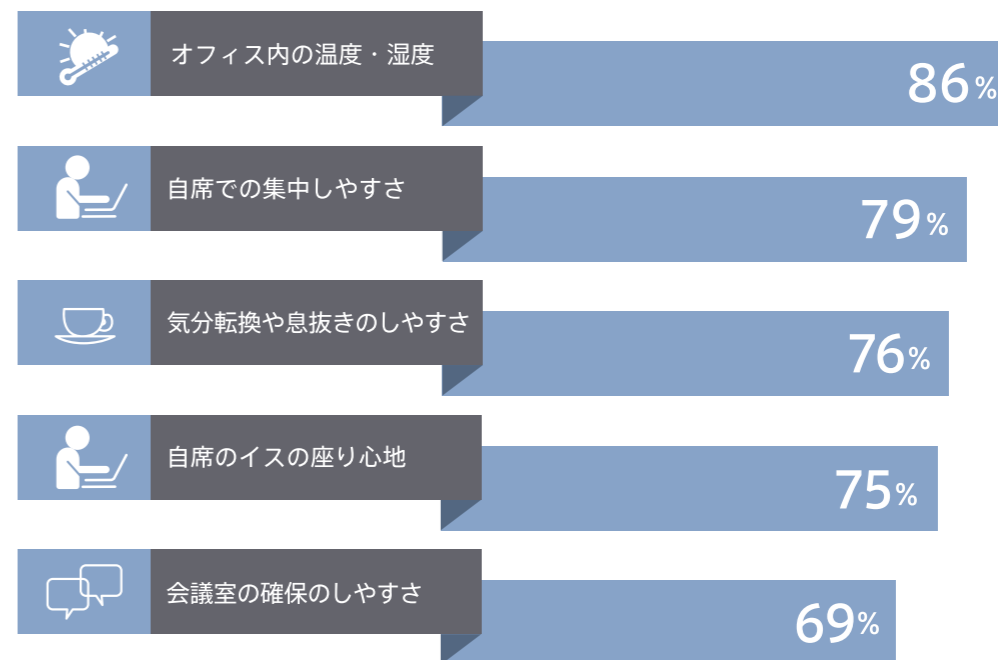
Q オフィス環境で重要だと思うものは何ですか？

[男性]



[オフィス環境で重要度の高いもの Top 5]

[女性]



POINT!

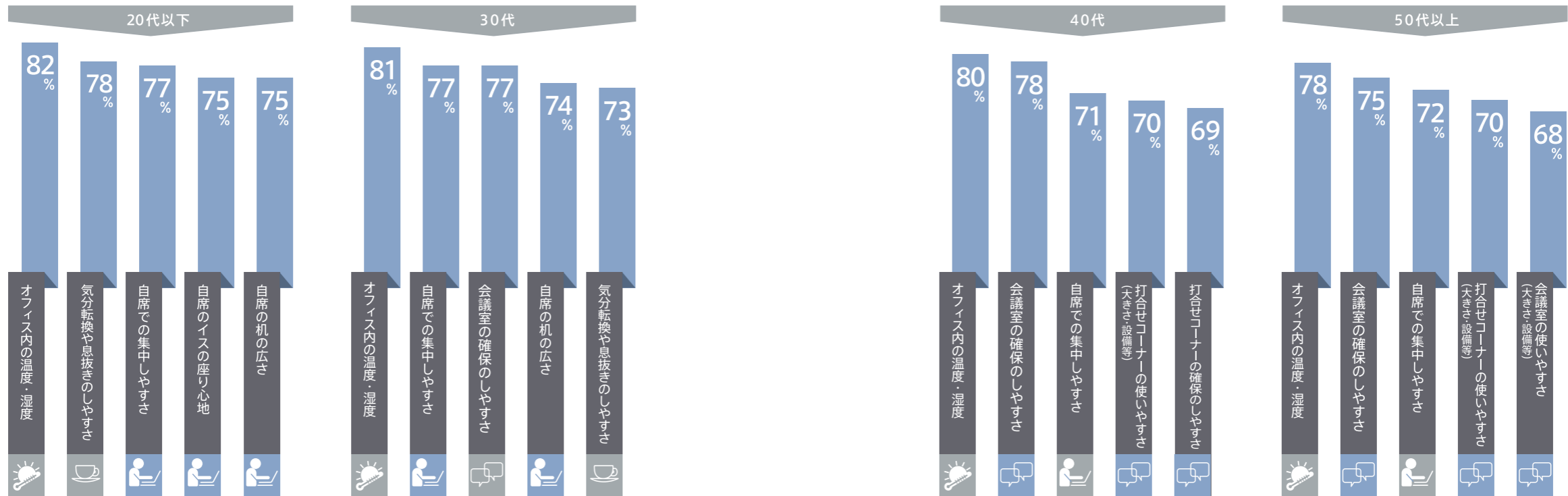
性別、国籍、宗教を問わず多様な人材活用が進む昨今、従業員それぞれの働き方、考え方も多様化しています。オフィスを使う人の声に耳を傾けてみることで、皆が働きやすいオフィス実現のポイントです。

年代によって重要さが変わっていくのは、「自席まわり」と「コミュニケーションの場」の環境です。

年代別に重要だと思うものを比較すると、20代以下・30代の若い世代は自席まわりや気分転換に関する項目が挙がっています。一方、40代・50代は、会議室や打合せコーナーなどのコミュニケーションの場を重要視していることがわかりました。



Q オフィス環境で重要だと思うものは何ですか？



[オフィス環境で重要度の高いもの Top 5]

POINT!

若い世代は会議や打合せを開催する側になることが少なく、自席での業務が多いため、40代・50代以上に比べて居心地を重要とする傾向があると推測できます。

POINT!

どの年代でも、温度・湿度は重要と回答。温度・湿度は、体格や体調、服装などによって感じ方は人それぞれです。座る場所を選べるなど、工夫をすることも解決策の一つといえます。

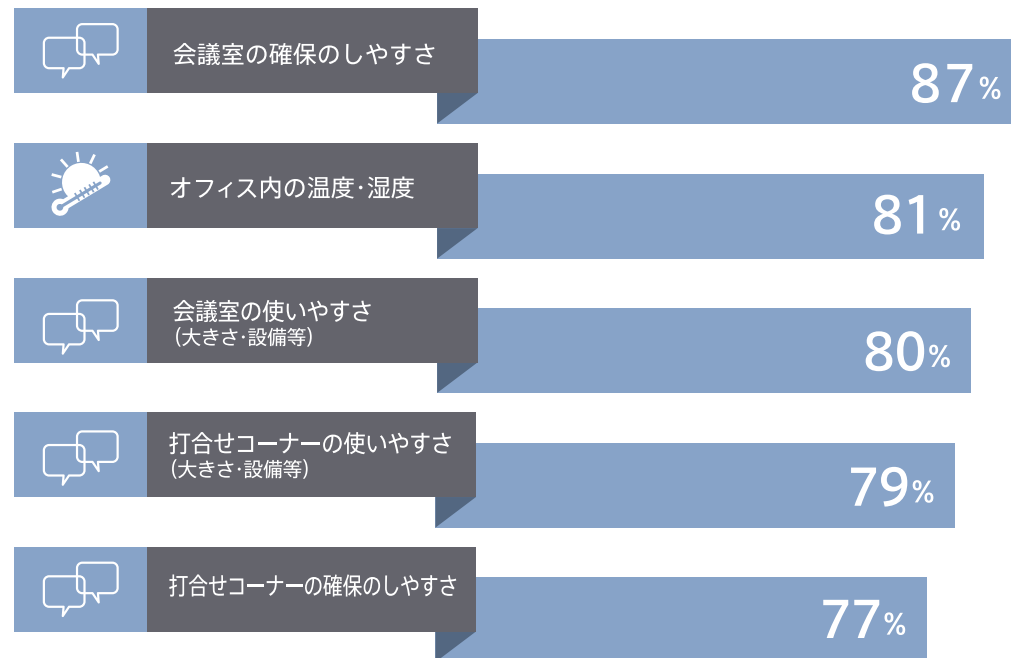
マネージャーと一般社員では、「会議室」と「気分転換や息抜き」について考え方に違いがあるようです。

マネージャーは、会議室や打合せコーナーなどのコミュニケーションの場の確保や使いやすさを重要と感じています。一方で自席での集中や気分転換などは上位に挙げらず、一般社員の方が重視していることがわかりました。



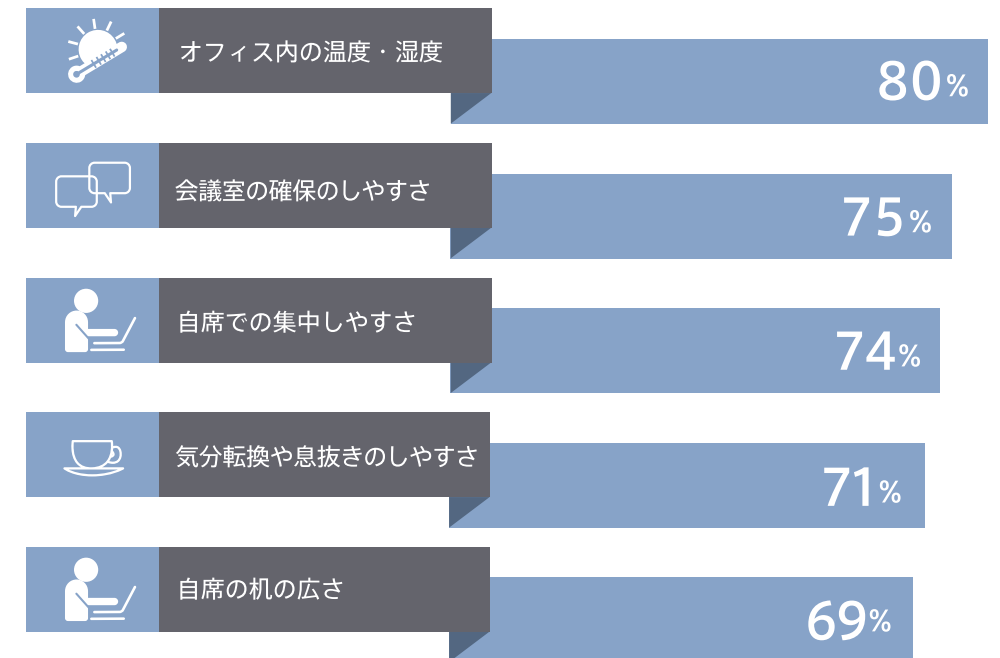
Q オフィス環境で重要だと思うものは何ですか？

[マネージャー]



[オフィス環境で重要度の高いもの Top 5]

[一般社員]



POINT!

職位が高くなると、デスクワークに加えて指示伝達やチームでの業務が多くなります。オフィスでの業務内容が、使う場の重要性和大きな関係があるようです。

06

改修・移転すると、オフィス環境に対する満足度は高くなりますが、重要度は低くなります。

オフィスの改修・移転を行うと、オフィスに満足していると答えた人は30%以上増加しました。

その一方、オフィス環境が重要だと答えた人は減少しました。

身近なオフィス環境の改善で満足度が高まると、運用や効率といった

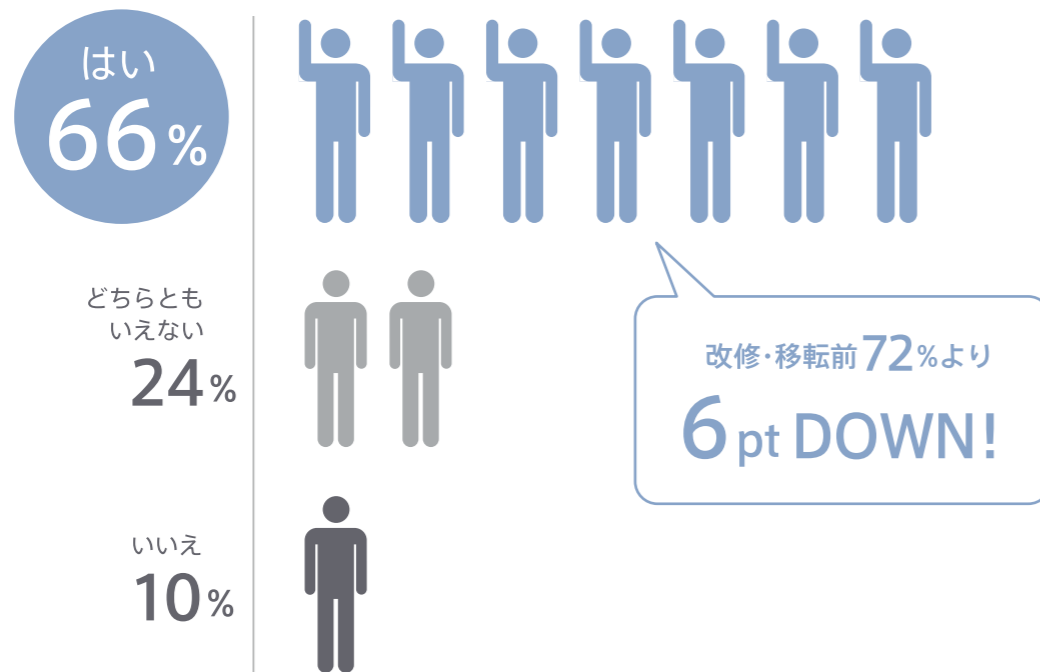
次のステップへの関心が高まると考えられます。オフィスの改修や移転は、従業員にとって

エンゲイジメントや働き方を見直すよいきっかけにもなっています。



Q オフィス環境は仕事をする上で重要ですか？

[改修・移転後]

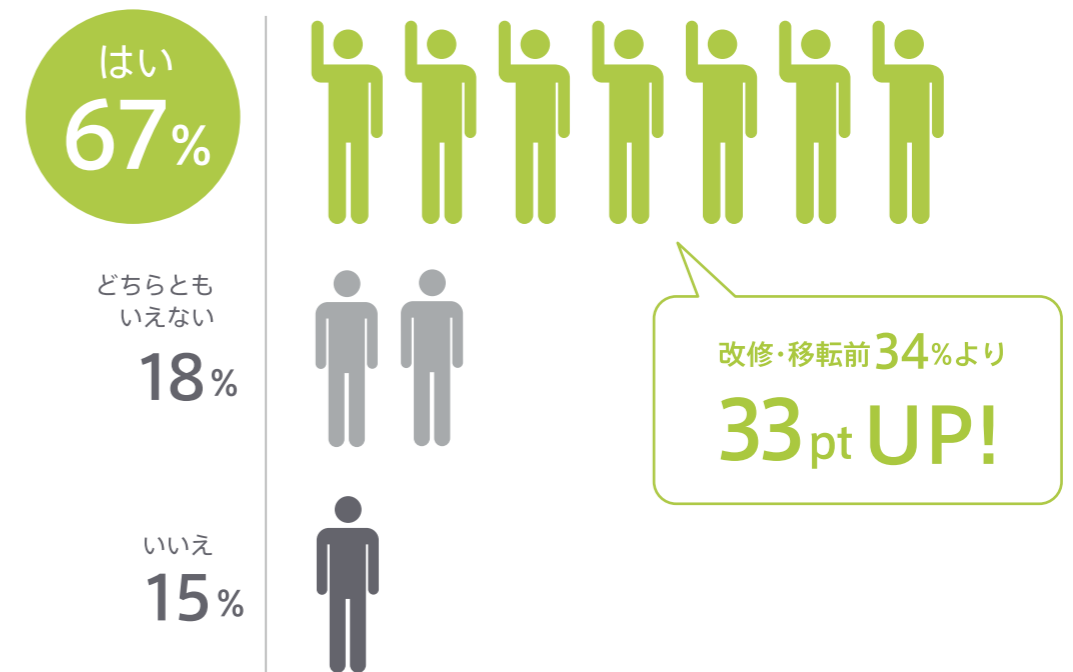


POINT!

オフィスが整備されると従業員の問題意識は、自然と運用や仕事そのものの進め方へと向かいます。改修・移転による従業員の意識変化を通して、さまざまな面から「働き方」の見直しを広げていけるようになります。

Q 今のオフィス環境に満足していますか？

[改修・移転後]



オフィス環境の改修・移転の効果を
より引き出すためには、
従業員の意識の「見える化」がポイントです。

改修・移転後、改修・移転前に従業員が抱えるオフィスの不満点Top5の項目に、

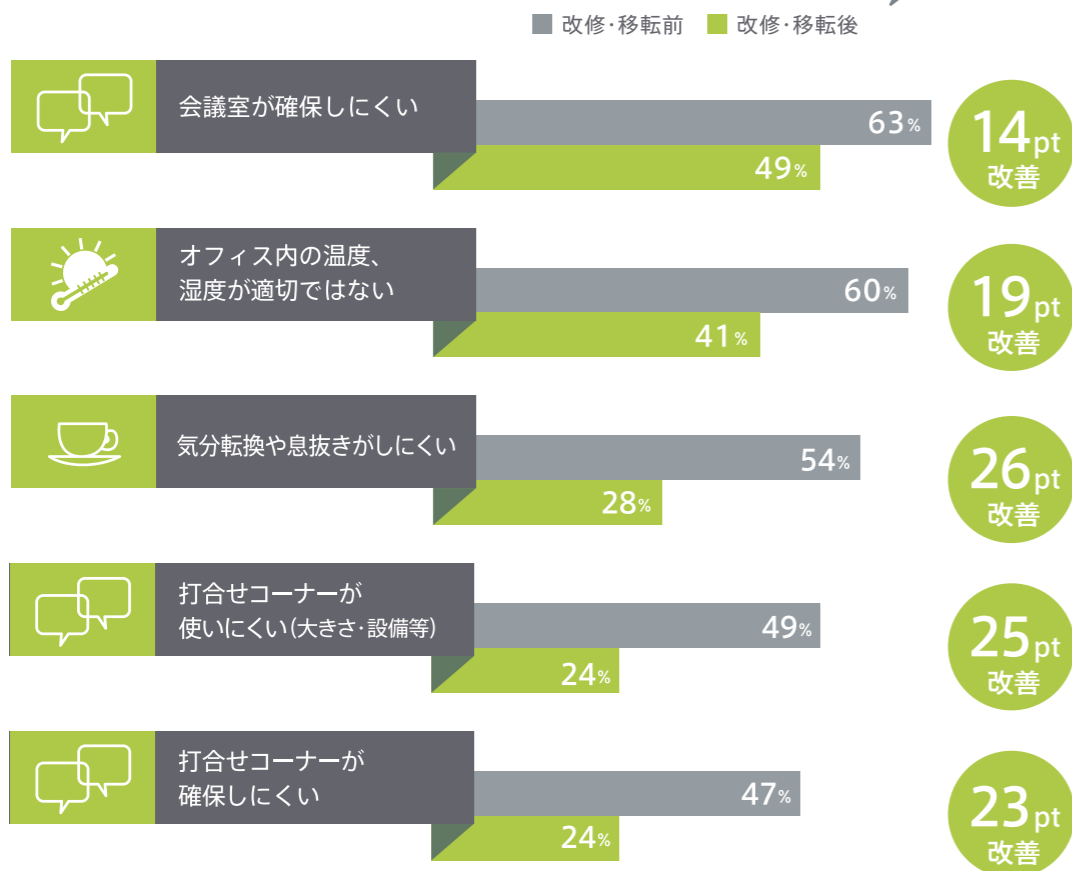
20ポイント前後の改善が見られました。

改修・移転には多大なコストがかかります。

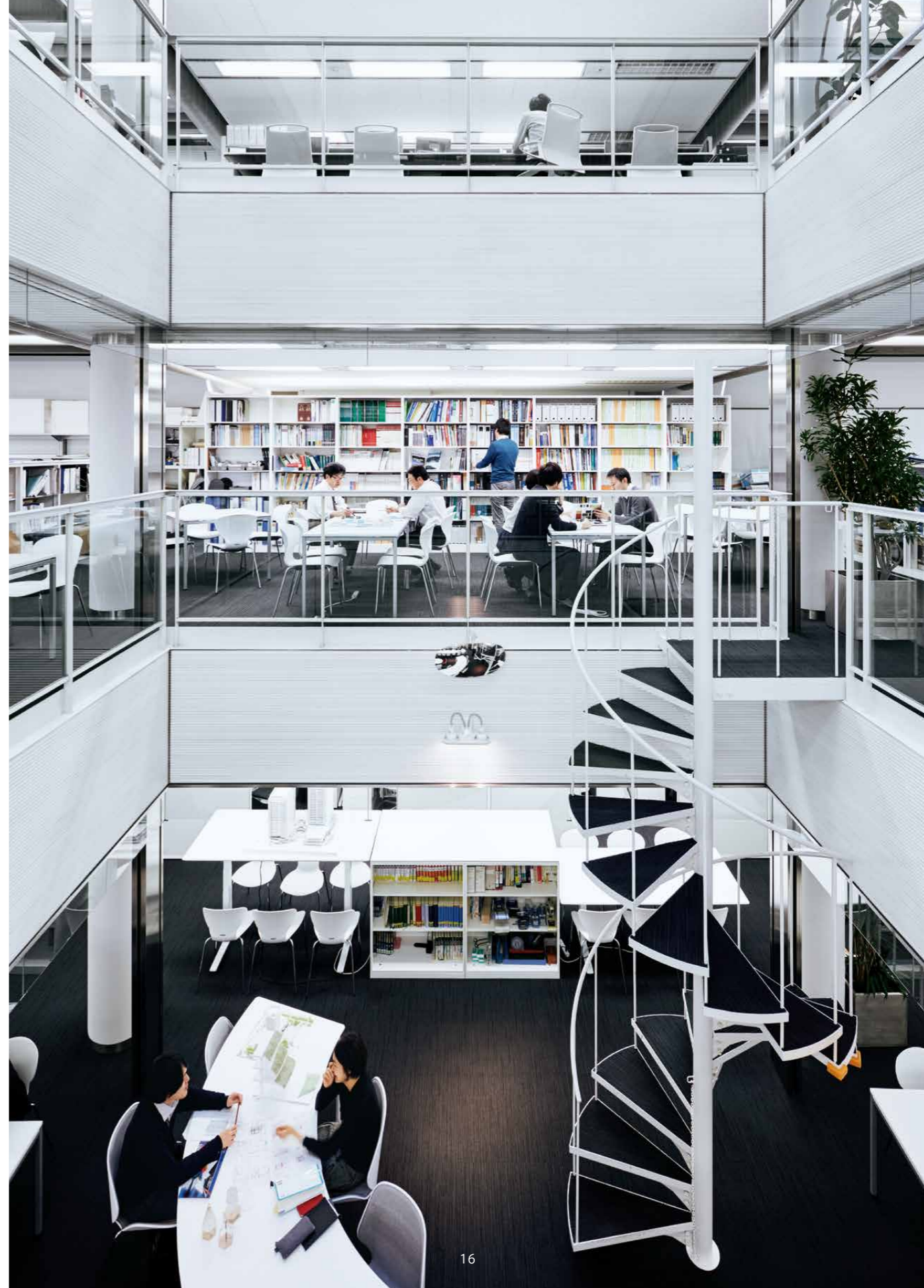
従業員がより働きやすくなるための効果的なオフィス環境の改善には、

現状の問題の見える化と優先順位づけが重要です。

Q オフィス環境でどんな不満を感じていますか？



[改修・移転前後のオフィスの不満点 Top 5]



今後もデータ収集・分析を行い、
より快適なオフィス環境づくりに
役立つ情報をお届けしてまいります。

【回答者属性】

改修・移転前後の調査	改修・移転前	25,947名
	改修・移転後	4,539名
	合計	30,486名 (のべ59社)

性 別		年 代		職 位	
男性	19,770名	20代以下	3,693名	マネージャー	6,754名
女性	5,649名	30代	7,029名	一般社員	17,066名
その他・不明	528名	40代	8,759名	その他・不明	2,127名
合計	25,947名	50代以上	5,336名	合計	25,947名
		その他・不明	1,130名		
		合計	25,947名		

【アンケート実施概要】

- ・調査期間：2012年～2017年
- ・調査方法：エフエム・ソリューションが改修・移転を計画している企業に対し、オフィス満足度調査をWEBアンケートで実施。

株式会社エフエム・ソリューション *fmsolution!*

オフィス構築のためのコンサルティング業務を提供するオカムラのグループ企業です。

WORK MILL projected by **okamura**